

勇気と決断に拍手

村上里佳子(むらかみ・りかこ) 旧姓清水。富山市出身、東京都在住。奥田中、滑川高、立命館大OG。パリ五輪ウエイトリフティング男子102kg超級代表・村上英士朗の妻。2017年全日本女子ウエイトリフティング選手権90kg超級で優勝。27歳。

います。

「試合で120%」難しい

富山市出身で東京五輪銅メダルのスケートボード中山楓奈選手が7位で大会を終えました。中山選手にとって2度目の五輪の舞台。まだ19歳で若いのに世界で通用するパフォーマンスができるのは本当にすごいことです。



特に一発の技を競うベストトリックでは、代名詞の「フロントサイドKグラインド」に挑戦し、最後まで諦めず果

世界の大舞台で攻めた試合をするには、勇気と強い決断が必要です。私が打ち込んだウエイトリフティングもスケートボードと同じで個人競技で、「自分との戦い」が大事になってきます。試合で120%の力を発揮することは難しく…。私自身、

大勝負すごい

しっかり調整して試合1週間前まで調子が良かったのに本番では悪いとか、めっちゃくちゃ調子が悪かったのに新記録が出たとか。正直、運の部分もありました。

決めるのは自分

守りに入って3位か、攻めて1位orメダル圏外の選択か。最後に決めるのは自分です。でも、試技前に聞こえる心

援の声にいつも励まされ、自分の選択に後悔はなかったと思えました。パリの会場には見に行けなくても、激励メッセージやSNSを含め、応援する気持ちは選手に届いていると思います。閉会式まで選手たちを盛り上げていきたいです。中山選手の今後の活躍に、富山県民を代表してエールを送ります！